

1次案内

南山大学附属小学校 第4回「真教育」研究会

研究テーマ

「真教育」の探究

～『宝玉』をどのように『いかし』、 一人ひとりの内に「残す」のか～



「真教育」(児童中心の教育)

どの児童にも隠れた宝玉のやうな独創性や眠った能力が潜んでゐます。此の児童一人一人の独創性を見つけ能力を呼び醒まし、それに基づき彼等の自発的な活動を中心として、新しいものゝ発見、未知の世界への探求へと導くやうな教育を根本に致します。従つて教へ込む教育ではなくて学ばせる教育であります。児童自ら観察し、実験し、比較し、思考して、自ら帰結に達し、原理を発見するやうに仕向ける教育なのであります。

(昭和11年「南山小学校入学案内」より)

日時 2027年2月19日(金) 13:00~16:50 (受付12:40~)

場所 南山学園講堂・南山大学附属小学校
〒466-0838 名古屋市昭和区五軒家町17-1

お申込みについては、
11月の2次案内にて詳細をお伝えします。
また、本校Webにて研究会情報を随時アップします。

後援 日本私立小学校連合会 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 中日新聞社 南山大学

「引き出された一人ひとりの『宝玉』を、どのように『いかし』、一人ひとりの内に『残す』のか。」

第3回研究会を経て、私たちは改めて問い直しています。子どもたちは授業の中で、驚くような発想や、自分なりの言葉を見せます。それはまさに、その子の内に眠っていた『宝玉』が引き出された瞬間です。しかし、その輝く『宝玉』を、私たちは本当に『いかし』、『残す』ことができているのか。そこに、今年度の問いがあります。学び合いの中で引き出された『宝玉』が、磨かれ、確かな力・豊かな力として一人ひとりの内に『残す』ためには、教師はどのような授業をつくれればよいのか。互いの考えを『いかし』合うことで学びが深まり、その子の生活や未来へとつながっていく——そうした学びのあり方を、今年度は共に探っていきたくと考えています。

研究会では、一人ひとりの『宝玉』のいかし方を見つめ直しながら、子どもの内に『残す』授業づくりについて、共に考え、語り合っていきたいと存じます。子どもと教師が共につくる学びの場の中に、教育の「不易」と「今」を見出していく、そんな時間にできたらと願っています。

12:40	13:00	13:30	13:50	14:35	14:40	15:35	15:50	16:50
受付	全体会 (南山学園講堂)	移動	公開授業 (南山大学附属小学校)	準備	グループ別 研究協議会	移動	全体講演会 富山市立堀川小学校 教頭 政二 亮介 先生	

富山市立堀川小学校は、50年以上にわたり、子ども一人ひとりの内面にある願いや価値に寄り添う授業づくりを追究している学校です。昨年度に引き続きご登壇いただく政二先生には、一人ひとりの『宝玉』が『いきる』授業づくりについて、参加される皆さまと共に深めていただきたいと思います。



南山大学附属小学校

TEL 052-836-2900 (担当 水越)
URL <https://www.nanzan-p.ed.jp/>
Mail sho-jimu@nanzan.ac.jp



本校HPはこちら